

生徒たちの未来と 自由学園の 存続のために

自由学園の経済は主に、在校生の学費、自治体からの補助金、創立100年にわたる年月で蓄積された預貯金やその利息、付帯事業による収入、そして寄付金などで成り立っています。

生活団(幼稚園)から最高学部までの一貫教育、70年代には1,400人を超えていた在校生数は、日本の人口推移に寄り添うように下降し、現在は約850人となっています。

生徒数の減少による収入減、そして時代の変化により必要とされる設備導入などが学校の経済に直接的な影響を及ぼしています。

羽仁もと子・羽仁吉一先生が興した自由学園創立の志、社会を良くするための人間教育それ自体、そして今日この時、南沢に集う在校生の学びや未来を守るために私たちができることを行う。それが学園と生徒たちを経済的に支える自由学園協会です。

自由学園を過去のものにしてはいけない、そのために皆さまの力を貸してください。



自由学園協会
会長 森 美子

ご入会をお待ちしております

ご寄付の種類

定期寄付

協会の会員として、毎年一口5,000円からの継続的なご寄付のお申し込みを受けつけております。

随時寄付

一般寄付として、金額の多寡にかかわらず、年間を通していつでも受けつけております。

ご寄付の方法

| | |
|--------------------|---|
| クレジットカード コンビニ払い | 協会のホームページのネット寄付ページを開き、フォーム入力後、決済画面へお進みください。 |
| 現金 | 寄付金を自由学園へ直接ご持参ください。学園事務室でお受けいたします。 受付時間 月曜日～土曜日 9時～17時まで (祝日・長期休暇期間を除く) |
| 郵便振替 | 払込取扱票にてお払込ください。 ※ご請求いただければ用紙をお送りいたします 郵便振替 00140-8-67459 加入者名 自由学園協会 |
| 銀行振込 | 下記口座へ寄付者のお名前でお振込ください。 りそな銀行 田無支店 (765) 普通 3733787 口座名義 自由学園協会 |
| 銀行自動 引き落とし | 口座をご登録いただけます。必要書類をお送りいたしますので、ご連絡ください。 |

自由学園への寄付金は税金控除の対象となります

文部科学省より「特定公益増進法人」の指定による「所得控除制度」および「税額控除制度」の適用を受けておりますので、確定申告により税金の控除を受けることができます。

協会についてはこちらから

自由学園 協会 〒203-8521 東京都東久留米市学園町 1-8-15

🌐 <https://www.jiyu.ac.jp/cooperation/> ▶▶

✉ kyoryoku-info@jiyu.ac.jp

☎ 042-428-4232 📠 042-428-4235



「自由」をてらす光を
もっと強く。もっと明るく。



自由学園 協会



We will support JIYU GAKUEN.



自由学園 協力会の活動について



約 850 人の生徒 1 人につき
年間 10 万円以上を支援しています

自由学園 協力会は、皆様からの貴重なご寄付をお預かりして、毎年自由学園に 1 億円近い寄付をしています。現在、学園の生徒数が全校で約 850 人。1 人の生徒が年間 10 万円以上の支援を協力会より受けて、自由学園で勉強や生活に勤しんでいることになります。ご寄付全体の 30% は在校生の保護者が担い、全国友の会から 20% を超えるご寄付をいただいています。



多様な寄付活動を行っています

定期寄付、随時寄付に加え、羽仁もと子育英基金(奨学金)も募っています。近年は遺贈・相続による寄付も増えています。



キャンパスを美しく保つための整備ボランティア活動をしています

キャンパスを美しく保つため、生徒や学生の手の届かないところの整備のお手伝いをしています。どなたでも参加できます。詳しくはホームページをご覧ください。



イベントやオリジナルグッズ販売の収益を寄付としています

多くの方々に自由学園を知っていただく機会として、様々なイベントを開催しています。また、自由学園オリジナルグッズを販売し、その収益を寄付としています。



皆さまの支援が よりよい社会につながります

自由学園 協力会は、学校法人自由学園の経営を支え、生徒たちの学びを助け、ひいてはその卒業生たちが、よりよい社会を創造することを支える活動をしています。協力会が誕生したのは、自由学園創立 10 周年、昭和 6 年のことです。創立者である羽仁吉一、もと子両先生が教育のことのみにならず、経済面でも心を砕き、大変苦労されていたことを父母会(現:保護者会)が知りました。発起人会が開かれ後援団体が発足し、羽仁吉一先生によって「協力会」と名付けられ歩み始めました。発足時の協力会の精神は今日まで受け継がれ、自由学園の経営を支えるための活動を続けています。保護者会、卒業生、卒業生父母、友の会と学園に連なる多くの方々や、自由学園の教育に賛同し、ご支援をいただいている方々に支えられ、自由学園の経済の一端を担うまでに成長しました。